



■■■ インドネシアの超党派国会議員団来日 ■■■

～ 文部科学省訪問および研究現場の実態として CEReS を視察 ～

2017年11月17日(金)、Dr. Ir. Hj. Andi Yuliani Paris を団長とするインドネシアの超党派国会議員団が駐日インドネシア大使館 Dr.アリンダ F.M. ザインとともに CEReS を訪問しました。今回の訪問は、同国で現在検討が進んでいる科学技術振興法案について、日本の例を参考にする目的で、文部科学省などへの聞き取りに続いて大学の研究現場を訪問し、生の声を聞きたい、とのことでした。CEReS からは久世宏明副センター長、ヨサファット教授が出席して国立大学における研究振興やそれに必要な予算措置がどのようになされているか、詳しい説明を行いました。2時間ほどのヒアリング後、ヨサファット研究室の見学も行い、議員団からはマイクロ波リモートセンシングなどについて熱心な質問がありました。

(久世宏明、ヨサファット)



ヨサファット教授によるプレゼンテーション



参加者による記念撮影

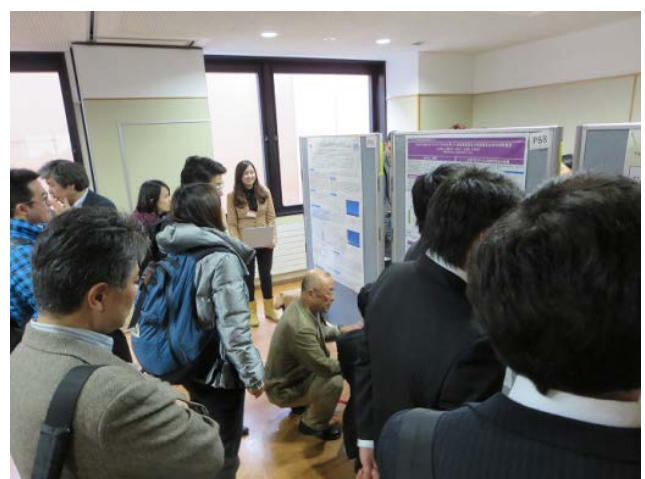
■ ■ 北海道の酪農学園大学でリモートセンシング学会開催 ■ ■

第 63 回（平成 29 年度秋季）の日本リモートセンシング学会学術講演会が 2017 年 11 月 21 日、22 日の両日、北海道 江別市の酪農学園大学で開催されました。同大学は 1933 年（昭和 8 年）の北海道酪農義塾にルーツを持っており、農食環境学群（酪農学、食品機能科学、野生動物学コースなど）、獣医学群（獣医学、獣医保健看護学類）の 2 つの学群で構成されています。11 月にしては珍しく札幌近郊は広く雪景色になっており、外気温も氷点下でした。CEReS からは 5 人の教員（久世・市井・本郷・齋藤・楊）および所属の研究者、博士課程・修士課程の学生らも参加し、共同研究分を含めて 13 件の講演を行いました。プログラムなど詳細は学会ホームページで見ることができます。

http://www.rssj.or.jp/conference63rd_autumn/



国道沿いのバス停から酪農学園大の建物を望む



ポスターセッションの様子